

東京電力が建設中の

東通原子力発電所

は怎么样了の？

2011年

1月25日 1号機着工 (2017年3月運転開始予定) (参考資料①)

3月11日 福島第一原発事故で工事中断

2018年

2017年度有価証券報告書

(2017年4月1日から2018年3月31日)

建設中の東通原子力発電所については、**拡張可能性のある長期的有望地点**として、
共同事業化に係る枠組みのなかで検討をすすめ、
立地地域をはじめとする関係者のみなさまのご理解をいただきながら、
パートナー候補への働きかけを継続していく。

6月29日 本格的な地質調査開始

(参考資料②)

調査を通じ、
当社福島第一原子力発電所事故後に策定された
新規規制基準への適合のみならず、最新の知見も踏まえ、
より安全性に優れたプラント設計を追求し、
様々な拡張可能性の評価に必要な材料も
収集してまいりたいと考えております。

2019年

3月28日 『青森行動計画』策定

(参考資料③)

『ここで「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづける』』

当社は、本行動計画に基づき、
地域の皆さまからのご意見・ご要望にも真摯に向き合い、
地域の皆さまと共に
「つくり」「はぐくみ」「あゆみつづけて」まいります。

参考資料

①東電HD HPプレスリリース 2011年1月25日「東通原子力発電所1号機の着工について」

<http://www.tepco.co.jp/cc/press/11012501-j.html>

②東電HD HPプレスリリース 2018年6月29日「東通地点の本格的な地質調査等の実施について」

http://www.tepco.co.jp/press/release/2018/1499126_8707.html

③東電HD HPプレスリリース 2019年3月28日「青森行動計画の策定について」

http://www.tepco.co.jp/press/release/2019/1513787_8709.html

④東電HD HPプレスリリース 2019年6月11日「青森事業本部の設置について」

http://www.tepco.co.jp/press/release/2019/1515434_8709.html

⑤東電HD HPプレスリリース 2019年8月28日

「原子力発電事業(沸騰水型軽水炉)に係る共同事業化の検討に関する基本合意書の締結について」

http://www.tepco.co.jp/press/release/2019/1516677_8709.html

青森行動計画

「つくり」

私たちは、比類なき安全を追求し、世界に誇れる最新鋭の原子力発電所を建設・運営してまいります。また、原子燃料サイクル事業を最大限支援してまいります。

「はぐくみ」

私たちは、地域の一員として、原子力事業を進めながら、安全・安心で暮らしやすい持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

「あゆみつづける」

私たちは、長きにわたる原子力事業を通じ、地域の一員として、地域の未来を共に描き、歩んでまいります。

7月1日 青森事業本部設置

(参考資料④)

本社機能を現地に置くことで、迅速な意思決定と行動を可能とし、地域の持続的な発展に貢献できるような取り組みを検討、実施してまいります。

将来的には、東通原子力発電所の建設状況等を踏まえ、機能・人員等の更なる強化も検討してまいります。

8月28日 原子力発電事業（沸騰水型軽水炉）に係る共同事業化の検討に関する基本合意書の締結

(参考資料⑤)

東京電力ホールディングス株式会社
中部電力株式会社
株式会社日立製作所
株式会社東芝 の4社

BWR事業を将来にわたってより安全かつ経済的に運営し、原子力発電所の建設と運転につなげられるサステイナブルな事業の構築を目指し、4社が協力して検討を進めていくことで方向性が合致したことから締結に至ったものです。

「サステイナブル」 Sustainable
持続可能であるようす（大辞林）

最後に一言

福島第一原発事故を起こし、その片付けをする目処すらたっていないのに、『つくり、はぐくみ、歩みつづける』って。。。何を作るのかと思えば、原発。新しい原発を作る余裕があるなら、まず片付けるものをきっちり片付けるべきです。そもそも原発が「持続可能」な事業って、意味がわかりません。例えば、私たちが5000年前の遺跡から放射性廃棄物を見つけたとします。その時代の文献をみると、どうもこの廃棄物は「持続可能」なエネルギーを作るためにできたものらしい。。。「こいつらアホか」と思いませんか？